

こども園における自己評価

A：たいへんよい
 B：よい
 C：一部検討を要する
 D：改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			・保護者アンケートより理念や基本方針について周知されていると感じた。職員には年度初めに話し合いの場を設けているが、途中入職の職員もいるため年度の途中に改めて周知を図る機会を作っていききたい。 ・人権チェックリストを定期的に用いたことで、子ども一人ひとりに配慮した教育保育の振り返りを持つことができた。各自の振り返りを園内研修で語ったが、職員から挙げた具体的な事例をもとに、更に深く話し合っていきたい。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか	○				
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			・年度変わりの引継ぎを丁寧に行い、長期的な視野や年齢における連続性について備えた指導計画等の作成に努めている。以上児・未満児ごとの話し合いは頻繁に行われているが、例えば行事のねらいや活動と「三つのゼン」や「主体性の育ち」とに照らし合わせるなど職員全体で共有する場を設け指導計画に反映していけるよう努めていきたい。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				・今年度より給食調理員は未満児会議に加わり、子どもの食事の様子から食材の大きさや量など細かな要望を聞いたり、給食調理員が考える食育への思いを伝えたりしている。また、以上児の食事の様子を保育者と見合い、子どもたちに食事マナーを伝えたり、農園の野菜の収穫に合わせ、食べることの楽しさを体験できるよう担任と連携を図っている。 ・クラスの保育者間で子ども一人一人の遊びの姿から興味の把握、気になること等様々な視点について話し合いを行っている。それらをもとに遊びに必要なものを用意し、子どもが夢中で遊び込める環境と安心感をもって過ごせるよう日々関わっている。また、「10の姿」を意識し保育を行い、年齢に応じて子ども自ら考え工夫することや「やってみよう」という気持ちなどが育つよう取り組んでいる。 ・興味に応じて他のクラスに行き遊んだり、遊戯室で一緒に遊んだりなど以上児間の異年齢交流が盛んに行われた。保育者同士の横のつながりを大切に、今後は特に保育環境に関して工夫していることや困っていること等を出し合い、お互いに意見交換をして深めていく。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか	○				
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○			
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育んでいけるよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			<p>・多くの場面で個別の援助が必要な園児が、安心して生活ができるように細かな記録を作成している。守秘義務を遵守しながら園全体で情報共有していくことが必要であると考え。</p> <p>・小学校関係者が園行事や公開保育に参加することが増えたことで、遊びにおける学び等、園の活動理解につながる機会となった。</p>
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			<p>・今年度、年長児クラスの個人懇談を取り入れた。園での生活面や友だち関係等についてお伝えし、保護者と子どもの様子を共有出来たことで就学前の保護者の安心感にもつながった。今後は年中児クラスも実施したい。</p> <p>・マイ保育園の登録者数は地域の出生状況に反映して多くはないが、定期的な広場の開催を通して身近な育児の相談窓口となるよう努めた。</p>
	(2) 虐待に対応できる園内の体制（医療機関、児童相談所など専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<p>・様々な災害を想定し、月一回避難訓練を行いクラス内で振り返ったり改善点を職員間で共有している。今年度の不審者侵入訓練は小松警察署の方に来園していただき、訓練の様子から玄関先での職員の対応や素早い職員間の情報共有など細かくご指導をいただいた。来年以降も続けていきたい。☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>☑</p> <p>・より高度な専門性の向上を図るためキャリアアップを積極的に受講する職員が多くいた。また各階のリーダーの裁量をもとにノンコンタクトタイムの実施に向け努めた。</p> <p>・利用者の事業計画については園だよりに掲載する等周知するように努めている。</p> <p>・行事の後に保護者よりご意見・感想を頂いているが、毎年同じ意見が書かれていることがあるため、各行事に対する園の思いや意図を行事ごとに知らせる必要性を感じた。また、保護者のご意見の紹介方法についても検討していく。☑</p> <p>・保護者が相談や意見を述べやすいように、クラス便り等で相談できる時間帯や曜日を知らせ保護者との関係構築をしていきたい。☑</p> <p>・自己評価の課題については職員間で話し合い、自らの課題に関しては「目標に向かって取り組むシート」を用い振り返りを行った。</p>
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○				
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか		○			
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7) 事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか	○				
	(10) 個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	○				
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14) 個人の評価結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

施設関係者評価

--

- ① 行事では、子ども達の表情、声から喜んでいる、楽しんでいる、演じていることがうかがえました。また、元気があってとてもいい時間でした。子ども達からの意見をとり入れて行なっていることがわかります。
- ② 担任と調理師との会議は、未満児の食事の様子と、食材の大きさ、カット量などの要望を聞き、とてもよいと思います。お互いが食育の考えを出し合い、楽しそうに子ども達が食事できることへの工夫がよりされていると感じました。
- ③ 子育て支援に参加された保護者に看護師の話しがあり、家庭での嘔吐処理方法として、写真を交えてわかりやすく流れが書かれており、とても見やすく感じました。また、保護者に持ち帰ってもらったこと、家庭で過ごす時間が長い乳児にとって心強いサポート内容だったと思います。

令和 7 年 3 月 17 日

役職等 監事

氏名 堅田 光恵



蓮代寺こども園

園の評価結果に対する意見・コメント

保護者アンケートからは、保護者がこども園に対して多くの面で満足している様子が伺えます。また、保護者の意見や要望に対しても園としての考え方を丁寧に伝えていて、園がどこまで応えることができるのかを明確に示している点が素晴らしいと思います。

教育・保育においてもPDCA（計画、実践、評価、改善）の全ての段階で、現状に満足することなく、絶えずこれでよいのか、変えるべきところはないかと考えて取り組んでいると思います。

これからも取り組むべき課題をすべての職員が共有し、保育者がお互いに意見交換して、蓮代寺こども園の教育・保育を深めていければと思います。そして、こども園として目指していることを保護者に理解していただくことが大切だと思います。

令和 7年 3月18日

役職等 監 事

氏 名 森 和 美



蓮代寺こども園の評価結果に対する意見・コメント

意見や要望とそれに対して園の考え方では、しっかりと園の考え方も含め、保護者の方に丁寧に答えていると感じました。行事については(特に運動会、発表会)、全体という要望もありましたが、運動会は運動場の大きさを考えると無理なのかなと思いました。全体で行うことにより、年齢の発達を理解されることもありいい面もありますが、園でしっかりと話し合わせ、行事ごとに園の考え方を具体的に伝えていってください。引き渡し訓練については、とても大切な訓練だと思いますので、より多くの保護者の方に参加してもらえるといいですね。

今年度も食事に関する評価がよく感心します。今後も頑張ってください。

個人懇談については、担任との信頼関係においても重要なことであり、その時間を作ってあげることが必要だと思いますので、今後も年齢の幅を広げ実施して下さい。

令和 7 年 3 月 20 日

役職等 監 事

氏名 嘉藤 恵子

